

子どもの自立心を育てる

子どもは2～3歳頃になると、自分でしたい、やってみようという気持ちが出てきます。それは自立心の芽生えです。自立心は大人になった時に、自分の意志で物事を考え、選択し、自分の行動に責任を持つ力につながっていきます。

では、子どもの自立心を育てるために、大人のどのような関わりが大切か考えていきましょう。

○子どもの意志を尊重する

自分で決めたことや子どもの気持ちを大切にしましょう。大人はついつい口をはさんでしまいがちですが、まずは子どもが決めたことを受け入れてあげましょう。「どっちがいい？」などと子どもが選択できる方法もいいかもしれませんね。

○過干渉になりすぎない

大人が先回りして何でもしてしまうと、子どもが自分で決めたり選んだりする機会を奪ってしまうことになります。子どもの行動を見守る気持ちが大切です。

○成功体験を重ねる

やってみてできたという経験は自信につながり、また新しいことにチャレンジしようという気持ちを育みます。ときには、失敗してしまうことがあるかもしれませんが、「頑張っていたね」と頑張りを認め、たくさんほめてあげましょう。

問合せ先

街道保育所

☎(922)3077

